

新たな盛岡市動物公園 ZOOMO の理念と今後の方針

盛岡市動物公園 ZOOMO は、令和 2 年 4 月より「株式会社もりおかパークマネジメント」が指定管理者となり、新たな体制で再生事業に取り組むこととなりました。

盛岡市動物公園 ZOOMO は再生事業を行うにあたり、“人、動物、環境（生態系）の健康は相互に関連していて一つである”という考え方「one world - one health」を理念に掲げ、野生生物の保全のみならず、自然環境の保全、人の福祉、動物の福祉（Animal Welfare）に資する事業を展開して参ります。

1 動物の福祉に配慮した飼育展示

現在飼育をしている 100 種 600 頭羽の動物たちの「動物の福祉（“動物が心身共に健康である状態”のこと）」に配慮した飼育展示を心掛け、これまで以上に動物たちの QOL（生活の質）の向上を目指し、その動物種らしい行動や暮らしが発現できる飼育環境の多様さと選択肢を提供します。また、動物の健康状態を科学的に検証し、より質の高い獣医療を行うため、「未来を創るどうぶつ医師団」や他園館の獣医師、飼育技師と連携をするとともに、動物たちの負担を最小限にしながら治療と日々のケアを行うためのハズバンダリートレーニングにも積極的に取り組んで参ります。

2 自然環境の保全と普及啓発

動物園の大きな役割の一つでもある環境教育、保全教育は、地域と地球の未来を考えるうえで欠かすことが出来ないものです。希少種の保全や啓蒙はもちろんのこと、身近に豊かな自然があり多くの野生動植物が生息する岩手県だからこそ、身近な環境や生き物の魅力と大切さを伝え、持続可能な環境、地域、社会を目指して一人一人の意識や行動を変えられる場所になるよう取り組んで参ります。

また、世界的に深刻な問題となっているマイクロプラスチックや森林破壊、地球温暖化などの環境問題に対して園として積極的に取り組むため、園内の売店・食堂における使い捨てプラスチック製品の使用削減に取り組み、マイバッグ・マイボトル持参運動を推進して参ります。

2020 年からは、売店及び食堂のプラスチック製レジ袋を有料とし、順次 FSC 認証紙製レジ袋に変更するとともに、食堂で使用するテイクアウト用の包材は紙製に変更し、プラスチックごみの削減に努めます。

園内の自動販売機についても、プラスチックごみ削減のためペットボトル飲料は置かず、台数も大幅に削減するとともに、ご購入いただいた売り上げの一部が環境保全や野生生物保全、動物の福祉向上に活用される寄付型自動販売機に変更致します。

3 人と動物、都市と自然、人と人を繋ぐ架け橋となる動物園

先に発表した愛称「**ZOOMO**」の由来にもあるように、盛岡の地域に根差した動物公園として、市民にも動物にも愛される場所を目指すとともに、自然と人、動物と人、人と人を繋ぐ架け橋として、動物のことを伝え、身近な自然の大切さや環境と私たちの関わりを伝え、みなさんが自ら考え、行動するきっかけを作る保全への入口、そんな命の語り部として、全国に先駆けて様々な事業を展開して参ります。

また、盛岡のまちが抱える都市の課題を、動物公園という場所を通じて一つでも多く解決できるような、新たな動物園の形、新たな動物園での過ごし方を提案して、地域になくてはならない場所になることができるよう努力して参ります。

新たな盛岡市動物公園 **ZOOMO** の理念にご賛同いただき、これから的新しい取り組みを応援していただけたら幸いです。

盛岡市動物公園**ZOOMO**
園長 辻本恒徳